



2021年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年2月15日

上場会社名 藤久株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 9966 URL https://www.fujikyu-corp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堤 智章
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 筒井 和宏 TEL 052-774-1181
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 2021年3月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

百万円未満切捨て

1. 2021年6月期第2四半期の業績（2020年7月1日～2020年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	10,899	23.4	965	—	970	—	823	—
2020年6月期第2四半期	8,832	△1.7	△948	—	△951	—	△1,378	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	66.96	—
2020年6月期第2四半期	△163.95	—

（注）当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年6月期第2四半期	14,291	9,554	66.9
2020年6月期	14,430	8,880	61.5

（参考）自己資本 2021年6月期第2四半期 9,554百万円 2020年6月期 8,880百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2021年6月期	—	12.50	—	—	—
2021年6月期（予想）	—	—	—	12.50	25.00

（注）1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年6月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年6月期の業績予想（2020年7月1日～2021年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,185	△5.2	1,150	30.2	1,150	53.4	850	200.8	69.10

（注）1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2 当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年6月期の業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該株式分割の影響を考慮して算定しております。

3 業績予想の修正については、本日（2021年2月15日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年6月期2Q	12,301,000株	2020年6月期	12,301,000株
② 期末自己株式数	2021年6月期2Q	868株	2020年6月期	868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年6月期2Q	12,300,132株	2020年6月期2Q	8,409,132株

（注）当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の経営成績は、売上高108億99百万円（前年同四半期比23.4%増）、営業利益9億65百万円（前年同四半期9億48百万円の営業損失）、経常利益9億70百万円（前年同四半期9億51百万円の経常損失）及び四半期純利益8億23百万円（前年同四半期13億78百万円の四半期純損失）となりました。

各部門別の経営成績は、次のとおりであります。

(店舗販売部門)

当第2四半期累計期間における店舗展開につきまして、退店では「クラフトハートトーカイ」15店舗、「クラフトパーク」1店舗及び「サントレーム」4店舗の合計20店舗を閉鎖いたしました。この結果、当第2四半期会計期間末の総店舗数は399店舗となりました。

店舗運営面につきましては、新規出店の抑制と不採算店舗の退店を推進しながらも、「①会員制度の進化、②教室運営の拡大、③システム面の刷新、④美観修繕の実施」を重点目標として定め、収益向上に繋げるべく取り組んでまいりました。①会員制度の進化につきましては、ランクアップ制度の導入や新アプリ導入による電子化への切替促進について検討を進めております。手芸専門店の有効会員数は、店舗の実績に応じた成果報酬制度を導入し入会獲得者数の向上に努めた結果、前事業年度末の1,461千名から、当第2四半期会計期間末は1,488千名と約27千名の増加となりました。②教室運営の拡大につきましては、新しい生活様式に合わせた非接触型のWeb講習会の確立に向け、導入店舗数を増やしてトライアルを進めております。③システム面の刷新につきましては、お客様の利便性改善のため、実店舗とECの基幹システムを統合するプラットフォーム開発に着手しており、2021年7月の稼働を目指し、一部店舗でのトライアルを進めております。④美観修繕の実施につきましては、老朽化の目立つ路店5店舗の外観修繕を2020年12月に実施しました。今後も本事業年度内に19店舗の外観修繕を計画しております。また、これからのクラフトハートトーカイにおけるスタンダードな店舗（モデル店舗）を構築するため、内装や什器設備までを変更する大規模な改装を2021年2月に3店舗計画しております。

商品区別では、生地部門の売上高が前年同四半期比で64.3%増と好調でした。中でも、全店で販売を強化したガーゼ生地、人気漫画「鬼滅の刃」関連の生地、エコバッグ関連の生地の販売が好調でした。ガーゼ生地については、手作りマスクを中心に販売が好調で、前事業年度のピーク時と比較すると少し落ち着きつつはありますが、前年同四半期比では大きな売上増加となりました。人気漫画「鬼滅の刃」関連の生地については、前年同四半期には取扱いがなかった商品のため売上増加となりました。特に映画が公開された10月以降は、好調に推移し大きな売上増加となりました。2020年7月のレジ袋有料化に伴い、手づくりエコバッグ用途の生地について、推奨販売を強化しました。店舗実績に応じて従業員のボーナスが追加となる成果報酬制度の対象としたことで、大きな売上増加となりました。

和洋裁部門も売上高が前年同四半期比で25.5%増と好調でした。中でも、生地部門の販売と連動し道具類、ゴム、糸、ミシンの販売が好調でした。ミシンについては、前事業年度では消費税の増税前の駆け込み需要により9月に大きな売上加算がありましたが、本事業年度では生地部門の販売と連動して7月より好調に推移し、前年同四半期の売上を大きく上回る結果となりました。

これらの結果、当部門の売上高は、103億47百万円（前年同四半期比24.3%増）となりました。

(通信販売部門)

通信販売部門では売上高の拡大と、部門利益の黒字化に向けた業務の効率化を重点目標に取り組んでまいりました。売上高の拡大は、店舗販売部門と同様に生地部門がガーゼ生地、人気漫画「鬼滅の刃」関連の生地、エコバッグ関連生地の販売の好調により前年同四半期を大きく上回る結果となりました。課題である部門利益の黒字化については、プロジェクトチームの取組みにより、事業所や物流拠点の整備によりコスト低減が進みました。今後は業務の効率化によるコスト低減だけでなく、売上拡大に向け店舗とECの相互送客を強化してまいります。

これらの結果、当部門の売上高は、5億34百万円（前年同四半期比10.0%増）となりました。

(2) 業績予測などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきまして、第2四半期累計期間の業績動向を勘案し、下期計画を見直しました結果、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2021年2月15日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で把握可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいた見込みであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,143,162	5,098,582
受取手形及び売掛金	307,849	247,513
電子記録債権	2,159	540
商品	5,186,901	5,647,517
貯蔵品	955	357
その他	1,014,040	795,014
貸倒引当金	△2,028	△1,596
流動資産合計	11,653,040	11,787,929
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	193,147	185,823
土地	913,814	644,957
リース資産（純額）	18,507	16,212
その他（純額）	23,523	22,323
有形固定資産合計	1,148,992	869,317
無形固定資産	95,765	220,207
投資その他の資産		
差入保証金	1,331,799	1,204,490
その他	200,621	209,252
投資その他の資産合計	1,532,421	1,413,742
固定資産合計	2,777,179	2,503,267
資産合計	14,430,220	14,291,197

（単位：千円）

	前事業年度 (2020年6月30日)	当第2四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,155,511	1,103,465
電子記録債務	1,084,940	1,165,227
リース債務	82,600	68,559
未払法人税等	234,590	200,284
賞与引当金	58,109	65,928
ポイント引当金	64,392	64,255
事業構造改善引当金	69,229	25,221
資産除去債務	88,050	44,365
その他	1,606,010	979,812
流動負債合計	4,443,435	3,717,119
固定負債		
リース債務	85,446	53,624
役員退職慰労引当金	34,893	7,497
資産除去債務	795,298	784,158
その他	190,730	174,242
固定負債合計	1,106,368	1,019,522
負債合計	5,549,803	4,736,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,840	3,125,840
資本剰余金	806,070	806,070
利益剰余金	4,948,535	5,618,384
自己株式	△976	△976
株主資本合計	8,879,469	9,549,318
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	946	5,236
評価・換算差額等合計	946	5,236
純資産合計	8,880,416	9,554,554
負債純資産合計	14,430,220	14,291,197

（2）四半期損益計算書
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2019年7月1日 至 2019年12月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2020年7月1日 至 2020年12月31日）
売上高	8,832,710	10,899,750
売上原価	3,774,058	4,369,379
売上総利益	5,058,652	6,530,370
販売費及び一般管理費	6,007,470	5,564,375
営業利益又は営業損失（△）	△948,818	965,995
営業外収益		
受取利息	718	544
受取配当金	930	876
協賛金収入	500	—
受取手数料	1,794	3,333
受取保険金	1,416	22
その他	1,636	3,362
営業外収益合計	6,996	8,138
営業外費用		
支払利息	8,058	1,251
コミットメントフィー	—	1,764
その他	1,845	465
営業外費用合計	9,903	3,480
経常利益又は経常損失（△）	△951,725	970,653
特別利益		
固定資産売却益	—	6,157
特別利益合計	—	6,157
特別損失		
固定資産除却損	456	936
減損損失	208,014	1,683
投資有価証券評価損	3,226	—
事業構造改善引当金繰入額	123,580	—
事業構造改善費用	23,233	5,035
特別損失合計	358,511	7,655
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△1,310,237	969,156
法人税、住民税及び事業税	68,586	145,555
法人税等調整額	△141	—
法人税等合計	68,444	145,555
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,378,681	823,600

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自 2019年7月1日 至 2019年12月31日）	当第2四半期累計期間 （自 2020年7月1日 至 2020年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△1,310,237	969,156
減価償却費	28,806	35,158
減損損失	208,014	1,683
貸倒引当金の増減額（△は減少）	22	△432
賞与引当金の増減額（△は減少）	9,157	7,819
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△5,298	△136
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	1,034	△27,396
事業構造改善引当金の増減額（△は減少）	123,580	—
受取利息及び受取配当金	△1,648	△1,420
支払利息	8,058	1,251
コミットメントフィー	—	1,764
固定資産売却損益（△は益）	—	△6,157
固定資産除却損	456	936
事業構造改善費用	23,233	5,035
投資有価証券評価損益（△は益）	3,226	—
売上債権の増減額（△は増加）	△17,356	61,954
たな卸資産の増減額（△は増加）	△601,166	△460,017
営業未収入金の増減額（△は増加）	△14,568	181,154
未収消費税等の増減額（△は増加）	12,214	—
差入保証金の増減額（△は増加）	31,179	117,909
仕入債務の増減額（△は減少）	305,572	28,240
未払金の増減額（△は減少）	△159,648	△460,561
未払消費税等の増減額（△は減少）	△27,030	△305,826
その他	96,343	135,279
小計	△1,286,055	285,394
利息及び配当金の受取額	1,480	1,343
利息の支払額	△8,005	△1,251
コミットメントフィーの支払額	—	△1,557
事業構造改善費用の支払額	△7,533	△43,164
法人税等の支払額	△138,609	△168,772
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	540	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,438,182	71,992
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△110,000
定期預金の払戻による収入	60,000	—
有形固定資産の取得による支出	△35,849	△1,572
有形固定資産の売却による収入	—	275,013
無形固定資産の取得による支出	△27,317	△103,588
投資有価証券の取得による支出	△308	△314
資産除去債務の履行による支出	△51,972	△86,496
投資活動によるキャッシュ・フロー	△55,448	△26,957
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	250,000	—
リース債務の返済による支出	△75,807	△45,862
配当金の支払額	—	△153,751
財務活動によるキャッシュ・フロー	174,192	△199,614
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,319,438	△154,579
現金及び現金同等物の期首残高	2,981,629	5,143,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,662,191	4,988,582

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。